



A1.

- ・食物は口で細かく砕かれ食道を通り、胃、十二指腸内で食物を分解する消化酵素を含む消化液や、消化液の分泌を調節する消化ホルモンと混じり粥状になります。粥状液は十二指腸から小腸、大腸内に運ばれ栄養素、水分が吸収され、吸収されなかったものは便として排泄されます。ブドウ糖、たんぱく質（ペプチド）、脂肪、ビタミンなどの栄養素は小腸で吸収されます。また、水分の約8～9割は小腸で吸収され、大腸では内容物から残りの水分と電解質が吸収されます¹⁾。
- ・胃瘻からの経腸栄養では、液体栄養剤よりもミキサー食や半固形状の栄養剤を入れた方が消化管ホルモンの分泌が生理的になるため、下痢などの腹部症状が少なくなるとされています¹⁾。
- ・通常、胃内に入った食物は胃の中で2～3時間かけて粥状になり少しずつ十二指腸へ送られます。液体栄養剤は食事より早い時間で胃を通過すると言われていますが、2時間後に胃内に食物が残っていても胃の調子が悪いわけではありません²⁾。一晩絶飲食にしても胃内容は完全にゼロになるわけではなく、胃液や唾液により10～30mL程度の液体が貯留しています。成人では飲水のあるなしにかかわらず胃内の液体が200mLになることもあります。
- ・胃腸の調子が悪い時だけでなく、全身状態が悪い時に胃残が増えることがあります（体調が悪い時に食欲がないのと同じです）。いつもと比べて胃残が多い時や、色が黄色や緑色のもの（胆汁）が引けた時は病院に相談しましょう。

参考文献

- 1) 宮田剛：食物の行く道をたどる。東口高志（編）：実践！臨床栄養，医学書院，東京，pp26-34，2010
- 2) 久保明：腸のお悩みに。冬の便秘を防ごう！ https://www.ohara-ch.co.jp/meitantei/vol03_1.html（2021年2月3日アクセス）